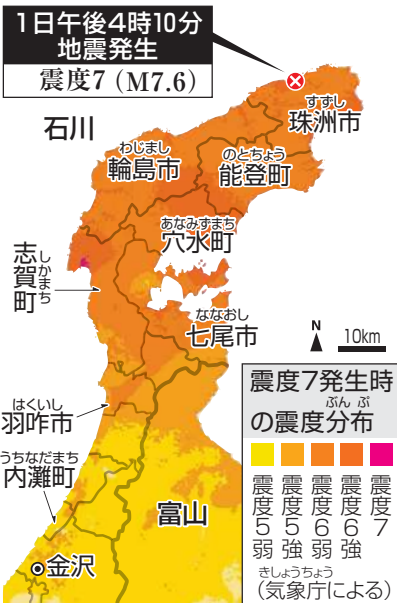


大地震への備え 大切



はやさかアドバイザーが見た能登地震被害

崩れた家や塀に衝撃受ける

一面の「学ぼう防災」で話をうかがっている仙台市防災・減災アドバイザー早坂政人さん(40)が、1日に発生した能登半島地震を受けて石川県に入り、避難者の支援や被災地の視察をしました。現地の様子を報告していただきました。

9日から6日間金沢市に派遣され、輪島市で被災した約300人を避難所で受け入れる手伝いをしました。赤ちゃんも高齢者もいます。大学生が小さな子どもの遊び相手になり、みんなで積極的にごみの分別や掃除をするなど、助け合っています。

「学ぼう防災」でもお伝えしましたが、大きな揺れに耐える備えが大事だと痛感しています。昨年、宮城県が発表した大地震の被害を分析する「第5次地震被害想定調査」では、建物の耐震化率を高めるなどさまざまな対策によって大地震の被害を少なくする必要があります。

みなさんの住まいの耐震性を改めて確認してもらえたらと思います。

9日から6日間金沢市に派遣され、輪島市で被災した約300人を避難所で受け入れる手伝いをしました。赤ちゃんも高齢者もいます。大学生が小さな子どもの遊び相手になり、みんなで積極的にごみの分別や掃除をするなど、助け合っています。

崩れたブロック塀を確認する早坂さん。石川県七尾市

被災者と話す早坂さん(左)。がけの近くに建つ自宅が崩れたそうです。七尾市



崩れたブロック塀を確認する早坂さん。石川県七尾市

被災者と話す早坂さん(左)。がけの近くに建つ自宅が崩れたそうです。七尾市

募集中

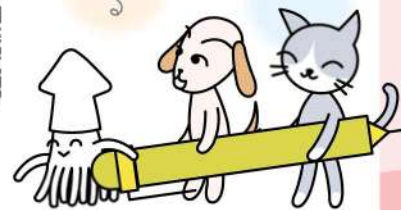
「3.11からの独り言」

河北新報社は震災13年の取り組みとして、東日本大震災を経験して感じたこと、心に残っている場面などを、おおよそ五・七・五でつづった短文「独り言」を募集します。地震や津波のこと、復興のこと、支援のこと、思い出せる人は短文を作成して、記憶を記録するとともに、応募してみませんか。

寄せられた独り言は河北新報オンラインなどで紹介する予定です。

応募方法

- 専用の入力フォームで受け付けます。締め切りは2024年1月31日
- 河北新報オンラインのピックアップか右記の二次元コードから接続してください
- 連絡先 防災・教育室 022(211)1591 メール hitorigoto@po.kahoku.co.jp



お母さんが 静かにならねば 心西に
 役に立つ 防災グッズ 持ち出せ
 頭長って って何を 頭長了の
 聞きかじりできな 安否確認 手帳増えナ
 知りません 簡易トイレの 使い方
 我が家では 震災以前に 越しナニばり
 何もせず 家を無事は 偶然だニ
 一つの正解 求められても 持ってません
 炊き出しの 味ホナグッド おらしょっぺー
 タロ出せず 相づち打てば 会話成る